

土壌インベントリ説明会（関西地区）

滋賀県大津市伊香立生津町



2006 年 8 月 2 日

9:10 滋賀県堅田駅（湖西線）集合 調査地へ移動（分乗とタクシー）

9:40 説明会開始

- 1) 調査地選定方法（吉永）
- 2) 代表土壌断面（グレード 1）の掘削方法（池田）
- 3) 枯死木調査法（高橋）
- 4) 土壌炭素量調査法 4 班に分かれた実習（高橋、吉永、池田、金子）
堆積有機物採取法

12:30-13:15 昼食休憩

- 5) 土壌炭素量調査法 円筒試料採取実習
- 6) 土壌断面記載法（金子、溝口）

17:00 終了

17:30 堅田駅解散

参加者

滋賀県 小島 永裕、平光

広島県 兵藤 博

徳島県 森 一生

愛知県 鴨下直史

三重県 野々田稔郎、島田 博匡

和歌山県 瀧井 忠人

奈良県 南宗憲、和口美明

大阪府 川井裕史

石川県 千木 容

森林総合研究所本所 高橋正通、吉永秀一郎、金子真司、池田重人

森林総合研究所関西支所 溝口岳男、平野恭弘

記録：梅雨あけの晴れた 1 日（関西環境部会の前日）。調査地は滋賀県が事前に確認済み。水田から近い、広葉樹林に枯死アカマツが混じる調査地。A 層は薄い、H 層は 5cm 程度と厚い。グレード 2 であるが、代表断面も 1m まで実習用に掘った。筑波の説明会と同様、一通り全ての調査項目を説明し、調査自体も終了した。各班 3 人程度で 4 班作り、堆積有機物採取や円筒採取などを全員が実習した。一部礫の多い地点では定体積で採取。断面記載、土壌型判定なども説明した。